

ひびくと言わせて！

スーパーのリサイクルに出す人はマナーを守って！

私の母が、あるスーパーで働いています。今はこのスーパーにもリサイクルコーナーとして「あきカシ」・「ビン」・「ペットボトル」などを回収しているのですが、回収品のコーナーがそれぞれきちんと分けてあるにもかかわらず、すべて同じコーナーに入れていく人や容器を洗わずに持ってくる人がいるとか。

持つてくる人のマナーを考えさせられます。一人ひとり気をつけていれば、リサイクルも簡単にできることなのに残念です。

市が曜日ごとに行っているリサイクルは、それぞれ当番の人がいるのですが、マナーの悪い人はいないと思えますが、スーパーなどは持つてくる人が「お客だから」という少し強い態度があるからなのか考えさせられます。

(古井町 Tさん)

講座の受付方法について

毎年、生涯学習情報を楽しみにしておりますが、いつも気になることがあります。

どの講座も申し込みが、電話受付で先着順であることです。勤めていたため、定員いっぱいまで残念なことも何度もありました。

みんな公平にするためには、はがき受付や電話での申し込み方法を、どちらか抽選に改めていただけないでしょうか。また、先着順である理由もお聞かせください

(eメール Oさん)

電子メールを拝読いたしました。

ご指摘のように、先着順であることについては、毎年毎事業、「先着順にするのか、電話・はがきでの申し込みと抽選にするのか」で議論しています。定員の多い講座については、短時間で定員に達する可能性は低いので、「先着順」方法をとっていることについては、ご理解いただければと思います。

問題は、定員の少ない講座についてです。現在のところ、広報紙に各種事業の募集を掲載し、その中に、受け付けの開始日・時間を明示しています。定員が少ないため、できる

Opinion

みなさんからの意見

このページはみなさんからのご意見などを紹介しています。
あなたのご意見を、お待ちしております。

限り早めに受講者を決定して、定員漏れの時は他の講座を案内するなど配慮しています。実際、受講者の声として、「予定が立つ」と、「他に同じような講座を探さずに済んだ」との旨の感想をいただいたこともありま。しかし、あなたがお考えのように、さまざまな都合のある希望者を公平にしなければならぬとの思いは、当方の課題であります。

一方、「電話・はがき申し込み+抽選」方法では、申し込み期間が10日〜2週間必要ですし（あまり短いと申し込みが非常に少ない場合もあります）、その間に、申し込みされた人は「果たして受講できるのか」「申し込みが殺到していたらどうしよう」と心配されています。

昨年度実施した「IT習得講座」では、市民からの「どの講座なら申し込み者が少ないか（＝競争率が低い）か」の問い合わせなどに対して、公平を保つためにお答えできなかったことなどから、結局、不満を抱かれてしまう結果となりました。

いずれにしても、日中お勤めの人にとっては、先着順の方法では、ご不満であることは十分承知いたしています。先にも述べましたが、定員が少ない講座については、「電話・はがき申し込み+抽選」方法を実施

することを検討していますし、講座の内容なども考慮して受け付け方法を考えていきたいと思えます。より多くの市民の皆さんに親しまれ、参加していただける講座づくりを進めていきますので、今後とも、ご理解とご協力をお願いします。

市民まちづくり推進室

「広報みのかも」を読んだの感想や特集として取り上げてほしい内容、身近な話題やうれしかったことや腹が立ったことなどを気軽にはがきやファックスまたは、電子メールでお寄せください。

広報紙上では、匿名で掲載しますが、お便りには住所、氏名を必ずご記入ください。あなたの声をお待ちしています。

◇はがき 〒505-8606

美濃加茂市役所市民まちづくり推進室広報コミュニティ係

◇FAX 0574-28-1290

◇電子メール kouhou@city.minokamo.gifu.jp